



2026年3月期 決算補足説明資料

2026年5月13日
株式会社サンゲツ
証券コード：8130
(東証プライム、名証プレミア)

2026年3月期 決算のポイント

■ 連結業績

- 売上高は過去最高を更新。各利益は前年同期比増益となり、特別利益（助成金収入等）約8億円計上もあり、当期純利益も過去最高。
- 売上高は、国内各セグメントが底堅く推移、海外セグメントが引き続き増加となり、前年同期比で増収。
- 営業利益は、国内インテリアセグメントの伸長および海外セグメントの大幅な損益改善により、前年同期比で増益。
- 計画比では、日本国内需要の弱含み等により売上高は未達も、国内インテリアセグメントの安定した収益確保、海外セグメントの好調な北米事業により、利益計画を達成。

■ 国内インテリアセグメント

- 内需の弱含みや主力仕入先火災事故に起因する供給制約等により、販売数量は減少するも、価格改定、商品ポートフォリオの改善、グループ会社の業績向上等により、売上高は前年と同水準を維持。
- 機能間連携の強化によるソリューション提案力の高度化、グループ会社の収益力強化、販管費減少により、利益計画を達成。

2026年3月期 決算のポイント

■国内エクステリアセグメント

- 新設住宅市場の落ち込み等厳しい事業環境の下、前年同期比増収増益となり、計画も達成。
- 業績改善の主たる要因は、販売価格の上昇、主力市場東海地方における非住宅物件の受注伸長、注力市場関東地方での拡販等。

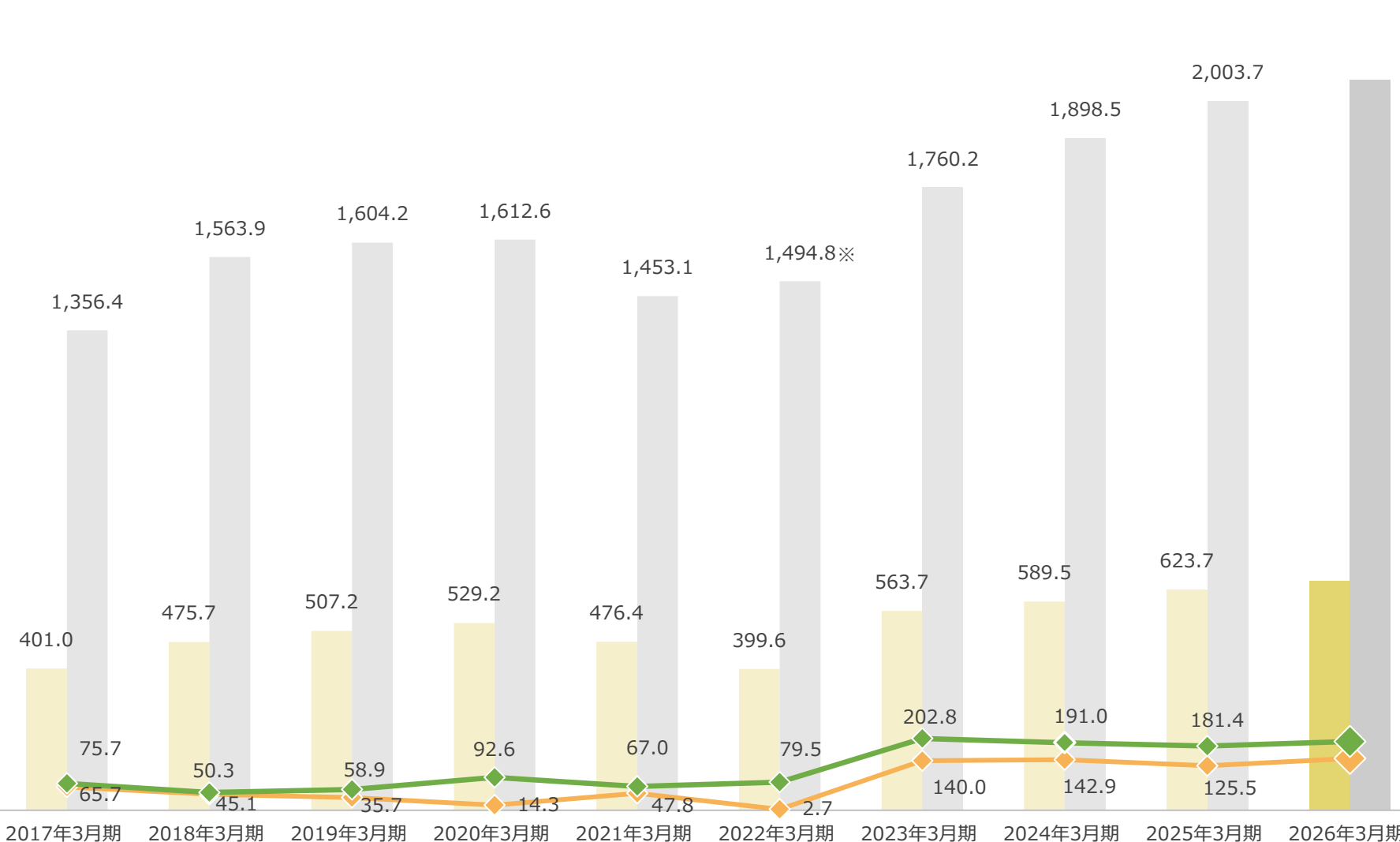
■海外セグメント

- 北米の好調な業況、東南アジアおよび中国・香港での経営改善により、売上高は前年同期比増。損益は大幅に改善し、赤字幅は縮小するも、シンガポール設計・施工事業の一過性費用計上により、計画は未達。
- 北米は成長戦略を加速する一方、東南アジアおよび中国・香港では経営体制を刷新し、経営改善が着実に進む。

連結損益計算書

	2025年3月期		2026年3月期				
	4Q	通期	4Q	通期		通期	
	実績		実績		前年同期比	予想	達成率
売上高	530.7	2,003.7	550.3	2,064.4	+60.6 (+3.0%)	2,100.0	98.3%
売上総利益	168.7	623.7	173.1	647.2	+23.5 (+3.8%)	658.0	98.4%
(利益率)	(31.8%)	(31.1%)	(31.5%)	(31.4%)	-	(31.3%)	-
販売費及び 一般管理費	113.5	442.3	115.0	453.2	+10.8 (+2.5%)	468.0	96.8%
営業利益	55.1	181.4	58.0	194.0	+12.6 (+7.0%)	190.0	102.1%
(利益率)	(10.4%)	(9.1%)	(10.6%)	(9.4%)	-	(9.0%)	-
経常利益	56.0	185.7	60.9	201.5	+15.8 (+8.5%)	195.0	103.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37.5	125.5	44.5	146.4	+20.9 (+16.7%)	130.0	112.6%

連結売上高・売上総利益・営業利益・当期純利益の推移



売上高

2,064.4 億円
(前年同期比：3.0%増)

売上総利益

647.2 億円
(前年同期比：3.8%増)

営業利益

194.0 億円
(前年同期比：7.0%増)

親会社株主に帰属する

当期純利益

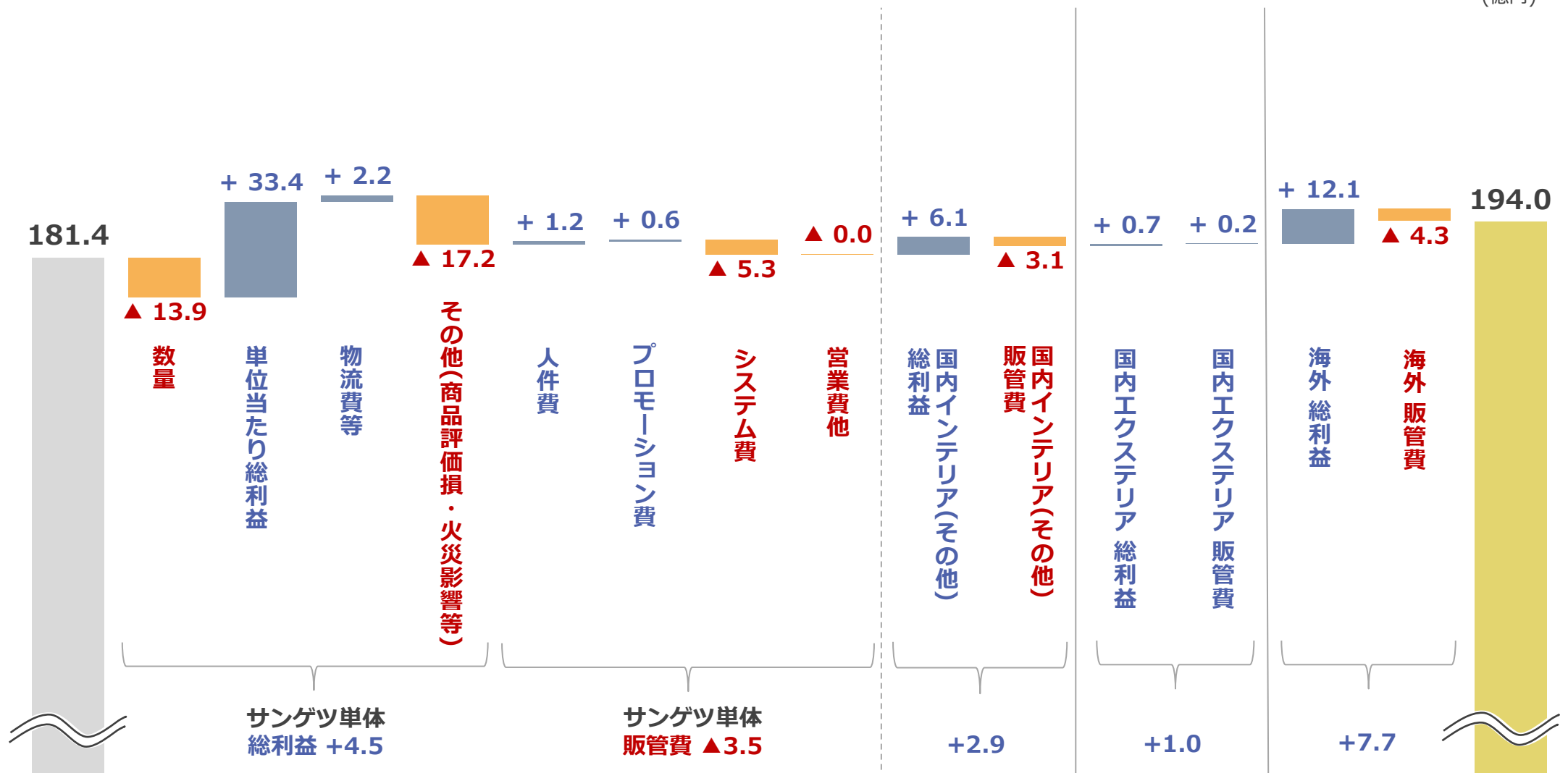
146.4 億円
(前年同期比：16.7%増)

セグメント別売上高・営業利益

	2025年3月期		2026年3月期					(億円、%)
	4Q	通期	4Q	通期		通期		
	実績		実績		前年同期比	予想	達成率	
国内インテリア 売上高	423.8	1,639.8	440.5	1,641.0	+1.2 (+0.1%)	1,660.0	98.9%	
壁装ユニット	199.9	786.4	202.0	799.4	+13.0 (+1.7%)	-	-	
床材ユニット	146.6	573.7	154.2	556.1	▲17.6 (▲3.1%)	-	-	
ファブリックユニット	25.4	96.0	27.0	101.2	+5.1 (+5.4%)	-	-	
施工・その他	51.8	183.5	57.2	184.1	+0.6 (+0.3%)	-	-	
営業利益	55.0	189.4	58.7	193.3	+3.9 (+2.1%)	188.5	102.6%	
国内エクステリア 売上高	17.1	66.1	20.0	73.1	+6.9 (+10.6%)	72.5	100.8%	
営業利益	0.3	0.1	0.4	1.1	+1.0 (+586.7%)	0.5	236.3%	
海外 売上高	89.7	297.9	89.8	350.2	+52.3 (+17.6%)	367.5	95.3%	
営業利益	▲0.3	▲8.2	▲1.1	▲0.4	+7.7 (-)	1.0	-	
セグメント間取引調整(売上高)	▲0.0	▲0.1	▲0.0	▲0.0	+0.0 (-)	-	-	
セグメント間取引調整(営業利益)	0.0	0.0	0.0	0.0	+0.0 (+3.1%)	-	-	
連結売上高	530.7	2,003.7	550.3	2,064.4	+60.6 (+3.0%)	2,100.0	98.3%	
連結営業利益	55.1	181.4	58.0	194.0	+12.6 (+7.0%)	190.0	102.1%	

連結営業利益増減 (前年同期比 4-3月)

(億円)



2025年3月期
連結営業利益

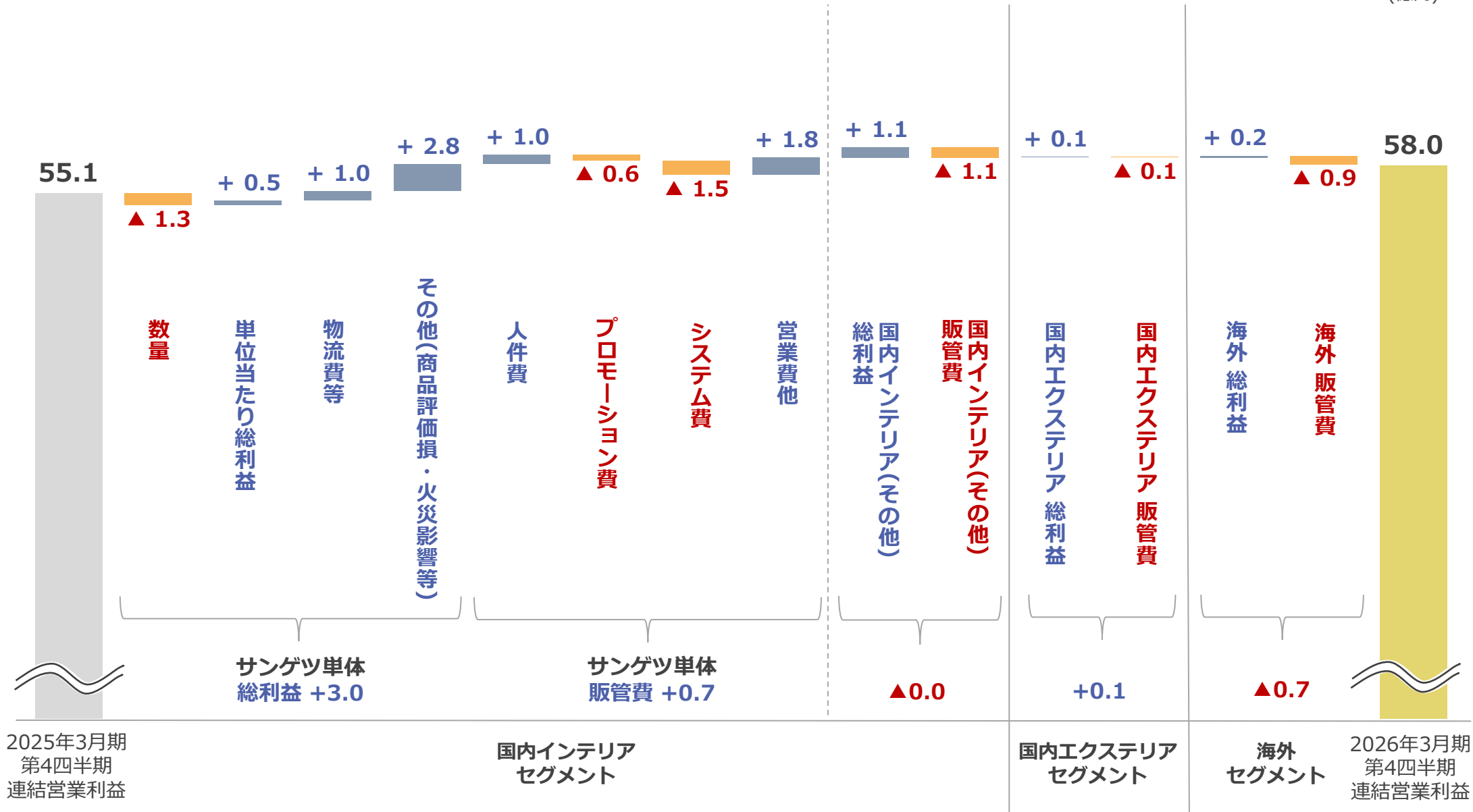
国内インテリア
セグメント

国内エクステリア
セグメント

海外
セグメント 2026年3月期
連結営業利益

連結営業利益増減 (前年同期比 1-3月)

(億円)



2025年3月期
第4四半期
連結営業利益

国内インテリア
セグメント

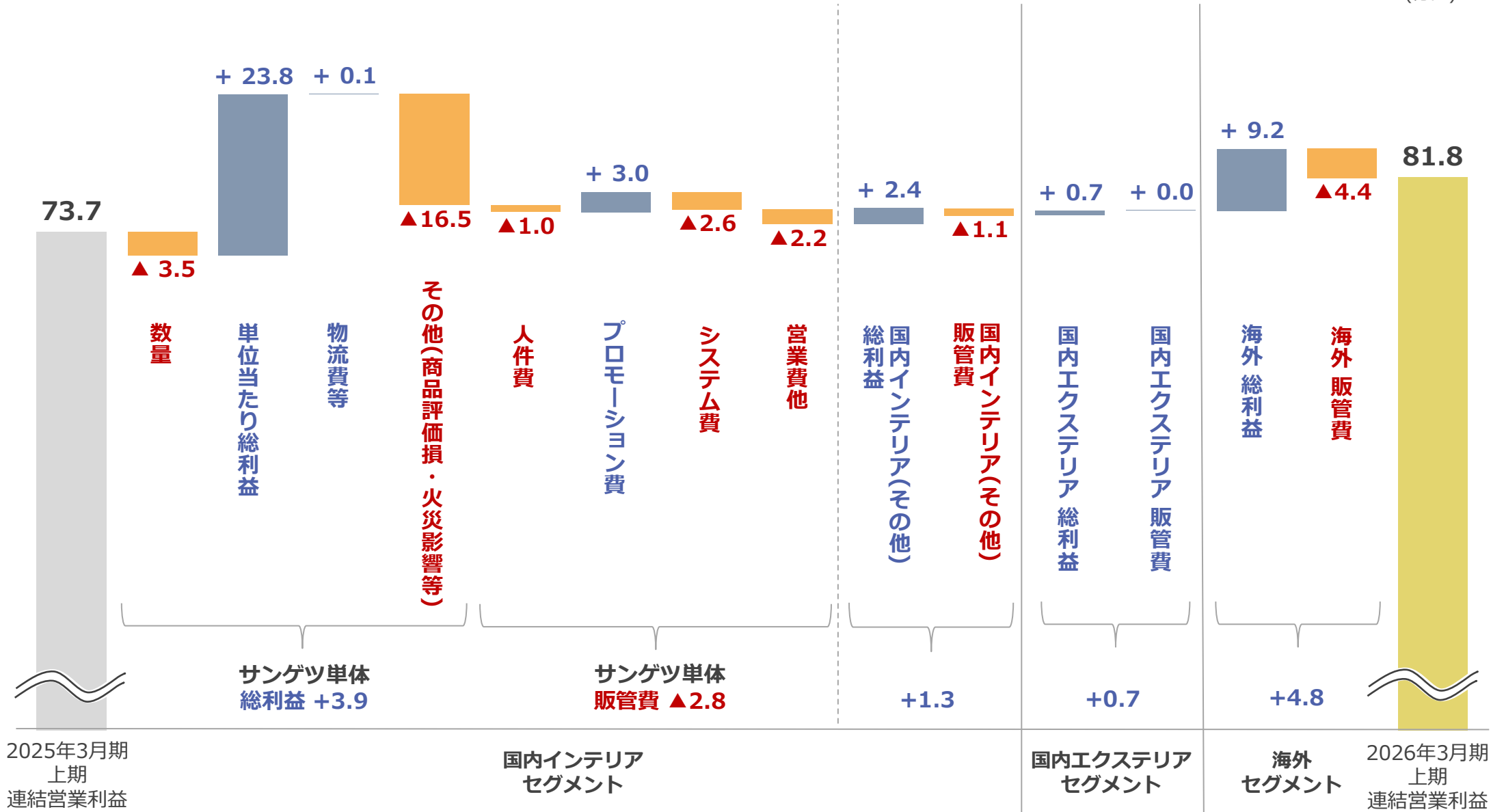
国内エクステリア
セグメント

海外
セグメント

2026年3月期
第4四半期
連結営業利益

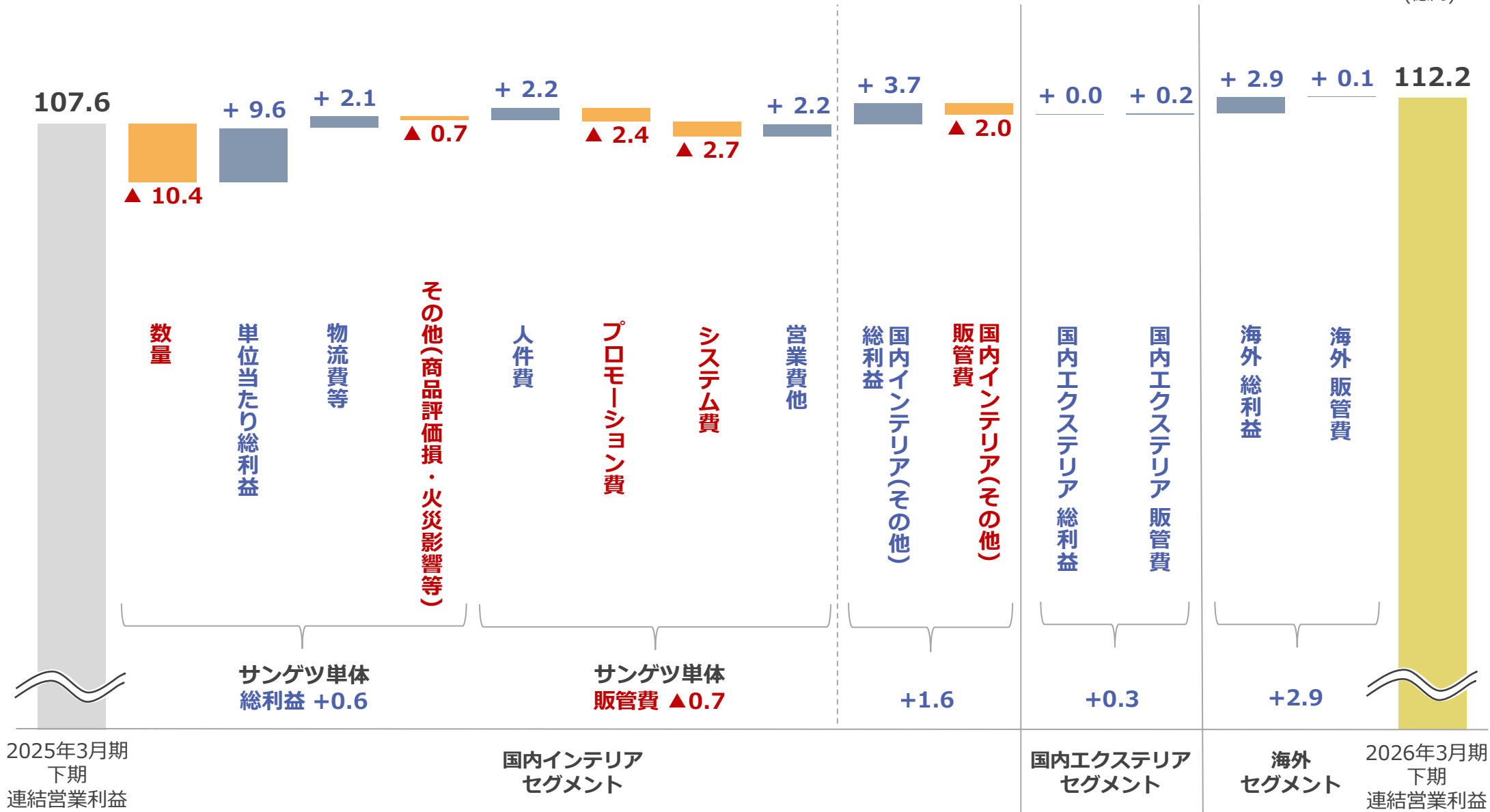
連結営業利益増減 (前年同期比 4-9月)

(億円)



連結営業利益増減 (前年同期比 10-3月)

(億円)



2027年3月期 業績予想の前提

■ 事業環境と業績への織り込み状況

- マクロ環境：世界経済は緩やかに成長するも、米国の通商政策、地政学リスク等によるサプライチェーンの不確実性は継続する見通し。
- 建設市場：建設コスト高騰等により、住宅、非住宅とも新設は弱含みで推移する一方、リフォーム・リニューアルは底堅く推移すると見込む。
- 業績への織り込み：前年の仕入先工場火災事故による供給制約はほぼ解消。しかしながら、原材料調達コストや物流費等の上昇、人件費をはじめとする販管費の増加、成長戦略のための投資を計画に織り込む。

■ 中東情勢等に係る影響について

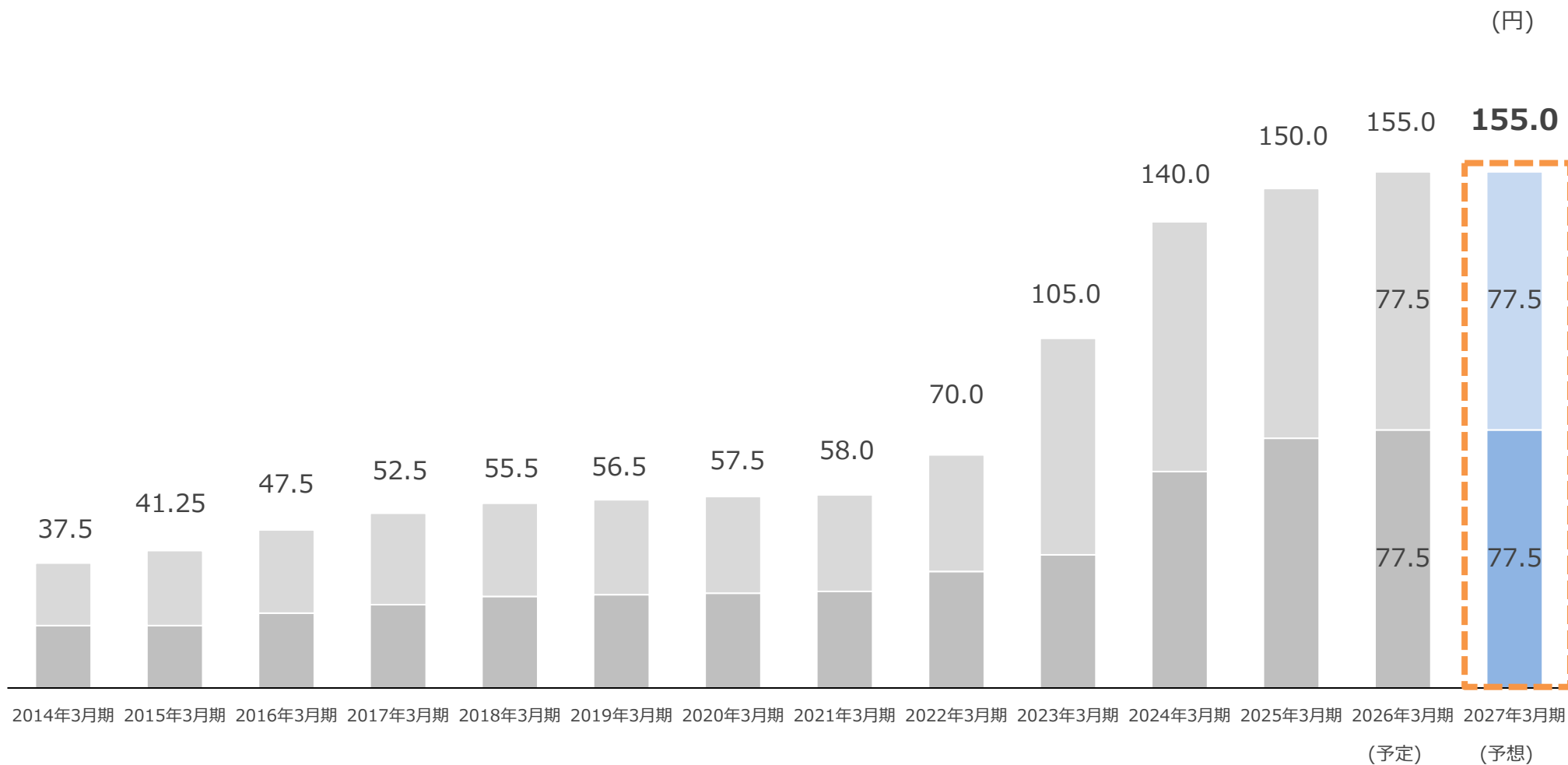
- 中東情勢の緊迫化等、地政学リスクの高まりに伴うエネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱による原材料の調達難、原材料価格の上昇等の不確実性について、現時点でその影響額を合理的に算出することが困難であることから、本業績予想に織り込んではいない。合理的に算出することが可能になった時点で速やかに業績予想の修正を行う。

連結業績予想

2026年5月公表

	2026年3月期			2027年3月期 (億円、%)	
	上期	下期	通期	通期	
	実績			予想	前年同期比
売上高	988.9	1,075.4	2,064.4	2,130.0	+65.5 (+3.2%)
売上総利益	306.2	341.0	647.2	663.0	+15.7 (+2.4%)
(利益率)	(31.0%)	(31.7%)	(31.4%)	(31.1%)	-
販売費及び 一般管理費	224.3	228.8	453.2	473.0	+19.7 (+4.4%)
営業利益	81.8	112.2	194.0	190.0	▲4.0 (▲2.1%)
(利益率)	(8.3%)	(10.4%)	(9.4%)	(8.9%)	-
経常利益	85.2	116.2	201.5	192.0	▲9.5 (▲4.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	63.1	83.2	146.4	135.0	▲11.4 (▲7.8%)

株主還元実績・予想 1株当たり配当金推移



2027年3月期の1株当たり年間配当金は、中東情勢等の不透明な状況を踏まえ、155.0円（中間77.5円、期末77.5円）維持を予想

中期経営計画について

2026年5月13日付けで当社グループは、2029年度を最終年度とする4カ年の新たな「中期経営計画 2029」（2027年3月期～2030年3月期）を策定いたしました。詳細については、適時開示資料をご覧ください。

■ 主要経営指標（2030年3月期）

- 連結売上高 2,500億円
- 連結営業利益 250億円
- 連結当期純利益 170億円
- ROE 14.0%
- ROIC 11.0%

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design